

島根県水産業の現状と課題

中国四国農政局島根農政事務所編集
島根県水産統計協議会報告書より

しまねの漁業

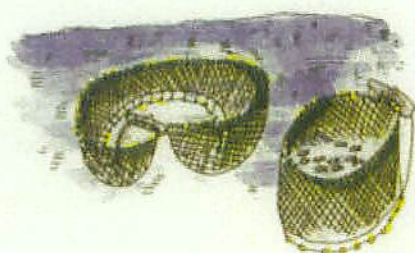
島根県の代表的な漁業種類についての説明です。

さらに詳しくをクリックすると、各漁業種類について操業写真入りの詳しい解説が見られます。

まき網漁業 5~15人(船団)

夜間の集魚灯に集まってくる、イワシ、アジ、サバなどの魚の群を、網で巻いて漁獲します。網の形からきんちやく網とも呼ばれており、網をたぐる網船、魚の群を探し集魚灯で集める灯船、漁獲した魚を港まで運ぶ運搬船で船団をつくり操業しています。島根県の漁業の中でこの漁法による漁獲が最も多く、全体の80%以上を占めています。

[まき網漁業についてさらに詳しく](#)



底びき網漁業

海底の魚を網でひいて漁獲します。大きく分けて小型底びき網と沖合底びき網の2種類があります。底びき網漁業では主にカレイ、ヒラメ、タイ、ニギス、イカなどを漁獲しています。

小型底びき網は1隻で操業し、菱形の形に投網して網を曳くため、かけまわしと呼ばれます。9~14トンの漁船で主に浜田~隠岐の水深80~200mの海域で操業します。

[小型底びき網漁業についてさらに詳しく](#)

5人前後

沖合底びき網は2隻で網をひくため2そうびきとも呼ばれます。60~90トンの船で操業し2そうで片側約1200mの長さのロープで網をひきます。沖合底びき網の漁場は九州~隠岐島周辺の海域です。

[沖合底びき網漁業についてさらに詳しく](#)

8人前後(隻)

定置網漁業

海岸近くの魚の通り道に網を垣根のように設置し、回遊魚を待ち受けて漁獲します。回遊してくる魚は通り道に網があると、その網に沿って沖の方へ泳いでゆき、身網の中に入って出られなくなります。イワシ、アジ、タイ、ブリ、イカなど沿岸を回遊してくる色々な魚がとれます。

[定置網漁業についてさらに詳しく](#)

8人~20人



かにかご漁業

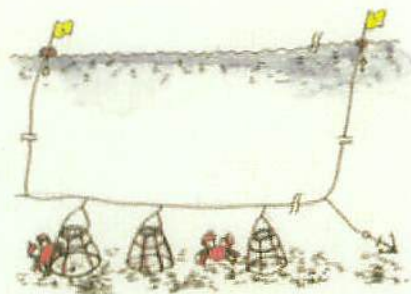
50~135トンの漁船を使用し、餌を入れたかごをロープに一定間隔で付け、海底に沈めて中に入るカニ類を漁獲します。漁場は隠岐島周辺およびその北方海域で、ズワイガニは水深200~300m、ベニズワイガニは水深1,000~1,500mで操業されます。漁期はズワイガニかご漁が11月下旬~2月、ベニズワイガニかごが9

～6月となっています。ベニズワイガニは全国でも1位の生産量があります。

かにかご漁業についてさらに詳しく

8人前後

同じような操業形態で、水深180～250mのエッチュウパイ(巻き貝)を漁獲するばいかご漁業もあります。ばいかごは主に小型底びき網の兼業として底びき網の休漁期の6～9月に操業されます。



刺網漁業

魚が回遊する道に、目に見えないような細い糸で編んだ網を仕掛け、魚を網の目に刺したりからませたりして漁獲します。県内の沿岸ではほとんどの地域で操業されており、ブリ、トビウオ、アマダイ、キス、ヒラメなどを獲っています。

刺網漁業についてさらに詳しく

1～3人



一本釣り漁業

一本釣り漁業は5トン前後の小型の漁船を使ってタイ、ヒラメ、ブリ、メバルなどを釣る漁法です。沿岸の瀬(海底に隆起した岩礁)や人工魚礁で操業されます。1本釣りでは釣り針は1本から50本ぐらいです。

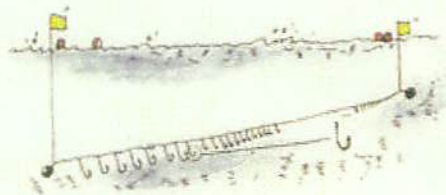
一本釣り漁業についてさらに詳しく



延縄漁業

はえなわ(延縄)漁業は釣り漁業の1種で、幹縄に多数の枝縄を付け、この先端に釣り針をつけた漁具を横に長くのばして設置し、魚を漁獲します。

はえなわ漁業では、釣り針の数は全部で500本にもなります。はえなわ漁業では、タイ、アマダイ、フグ、カサゴ類などが漁獲されます。



イカ釣り漁業

イカ釣りは夜間に集魚灯をたき、その光に集まってくるスルメイカやケンサキイカ、ヤリイカなどイカ類を釣り上げる漁法です。県内各地の沿岸域で数トン～19トンの漁船を使用して操業され、沿岸の中核的な漁業となっています。



シイラ漬け漁業

シイラ漬け漁は、シイラなどの回遊魚が海上の浮遊物に集まる習性を利用した漁法です。竹を集めて作った「漬け(づけ)」と呼ばれる人工の浮遊物に標識を付

けて海に浮かべ、その漬けに集まってきたシイラ・ハマチ・ヒラマサ等の回遊魚を網で囲んで漁獲します。シイラ漬けは小型底びき網が休業する夏期に、操業されます。

[シイラ漬け漁業についてさらに詳しく](#)



採貝藻漁業

海岸近くの浅いところで、アワビ、サザエ、ウニ、ワカメ、モズク等を獲ります。

島根県では、船の上からのぞき眼鏡で獲物を探し、やすのような漁具で獲る「かなぎ漁」が主ですが、地域によっては素潜りでアワビ・サザエ・ウニなどをとる素潜り漁も行われています。



養殖漁業

海に行って網や釣りで魚を漁獲するのと違い、稚魚、稚貝を網生け簀やかごに入れて、餌をやり大きく育てます。

養殖には波の静かな海域が必要なため、県内では主に隠岐島や島根半島などの内湾がある地域で行われています。県内でも古くから養殖が行われているものとしてワカメがあります。またイタヤガイ・ヒオウギガイなど貝類の養殖も行われており、近年では **イワガキ** が新たな特産品として注目されています。

ブリ・マダイ、ヒラメ、トラフグ等の魚類養殖は主に隠岐地域で行われています。



イタヤガイの養殖作業

シジミ漁業

島根県の宍道湖は、ヤマトシジミの産地として有名で、全国一の漁獲量を誇ります。宍道湖では「じょれん」と呼ばれる長い熊手のような漁具を船の上から引いて湖底のシジミを漁獲します。

宍道湖のシジミ漁業においては資源保護のため、じょれんの網目の大きさや1日の漁獲量、休漁日、禁漁区などの様々な取り決めを定めて操業しています。

関連: [内水面水産試験場のホームページ](#)

ヤマトシジミや宍道湖の生物についての研究報告などがあります。



シジミ漁の操業風景



表1 水産統計からみた島根県の地位 (平成17年)

区分	単位	島根県			日本海 西区	全国	島根県の占める割合		順位	
		平.17	16	対前年比			日本海 西区	全国	日本海 西区	全国
漁業経営体数(30日以上)	経営体	187,256			%		%	%	位	位
		2 357	2 496	94.4	8 220	124 716	28.7	1.9	1	22
漁業就業者数	人	13 740	222 170
漁船隻数	隻	4 449	4 474	99.4	14 860	216 596	29.9	2.1	1	20
海面漁業・養殖業生産額	百万円	20 806	23 622	88.1	8 089	149 858	25.7	1.4	2	23
海面漁業生産額	"	20 329	23 068	88.1	7 907	105 941	25.7	1.9	2	18
海面養殖業生産額	"	477	555	85.9	182	43 917	26.2	0.1	2	27
海面漁業・養殖業生産量	t	104 864	121 873	86.0	2 679	56 690	39.1	1.8	1	17
海面漁業漁獲量	"	104 114	121 194	85.9	2 635	44 570	39.5	2.3	1	14 (H19:10.5)
まいわし	"	1 758	533	329.8	19	276	92.5	6.4	1	6
うるめいわし	"	8 256	7 200	114.7	94	354	87.8	23.3	1	1
あじ類	"	35 834	57 254	62.6	557	2 142	64.3	16.7	1	2
さば類	"	17 005	10 401	163.5	367	6 204	46.3	2.7	1	10
ぶり類	"	5 615	9 169	61.2	150	549	37.4	10.2	1	2
かれい類	"	2 836	2 761	102.7	94	542	30.2	5.2	1	4
とびうお類	"	937	500	187.4	22	77	42.6	12.2	1	3
たい類	"	1 052	1 811	58.1	27	250	39.0	4.2	1	6
さざえ	"	552	613	90.0	17	84	32.5	6.6	2	7
海面養殖業収穫量	"	750	679	110.5	44	12 120	17.0	0.1	2	30

注:1 順位については、秘密保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。
2 全国及び日本海西区の海面漁業・養殖業の生産量の単位は100tで生産額の単位は千万円である。

1. 近年の漁業生産量は10万トン前後、生産額は200~250億円程度(昭和の後半から平成の始めにかけ35~56万トンの水揚げ、400~480億円の生産額)
2. 全国順位は生産量で10位前後、生産額で20位前後
3. 日本海西区(石川~島根)では石川県と首位争い
4. 漁業経営体数は漸減

図3 海面漁業経営体の推移

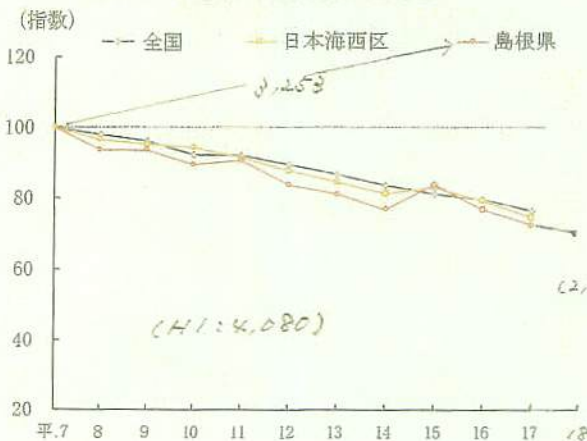
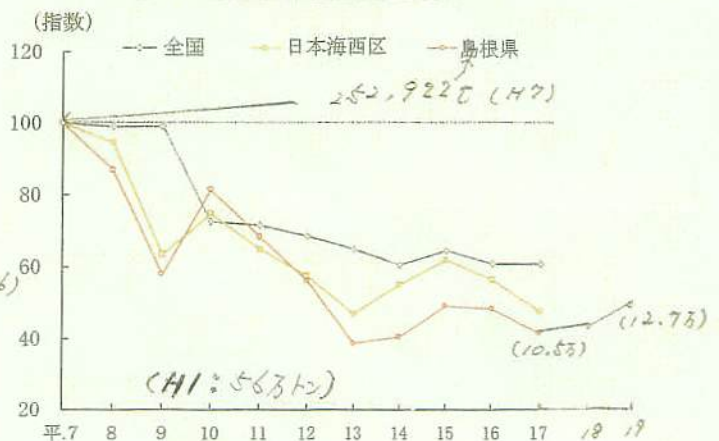


図4 海面漁業漁獲量の推移



(2) 主とする漁業種類別経営体数

図7 主とする漁業種類別経営体数の推移

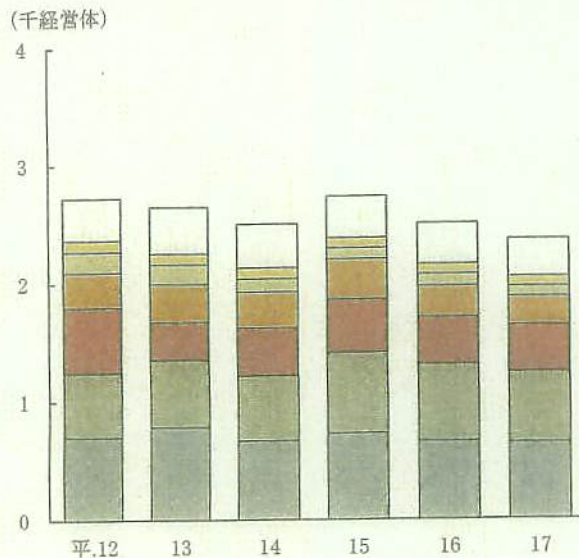
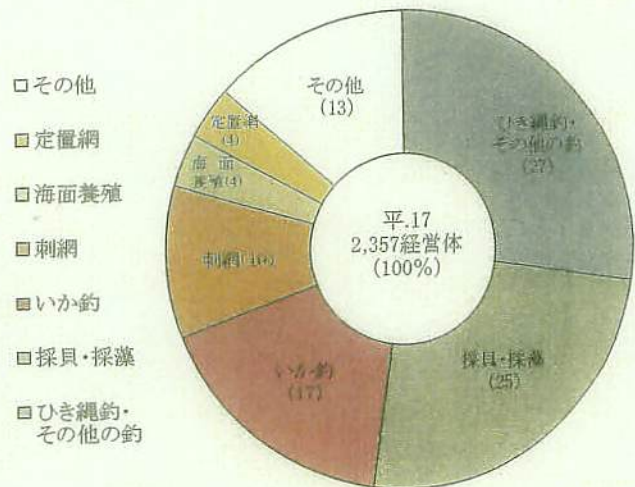


図8 主とする漁業種類別経営体数の割合



1. 釣、採貝、刺網等の沿岸漁業が経営体数の大半を占める
2. 基幹漁業と言われる沖合底びき網、まき網の経営体数は全体の1%強
3. 乗組員を必要とする主な漁業は、沖合底びき網、小型底びき網(一部除く)、まき網、定置網、かにかご、ばいかご
4. 底びき網、かにかごには休漁期間あり
5. 定置網も地域によっては冬期休漁
6. 基幹漁業の経営体数の変遷は以下のとおり

漁業種類/経営体数	S63	H5	H10
沖合底びき網	25	16	11
まき網	52	43	37

図9 主とする漁業種類別階層別経営体数

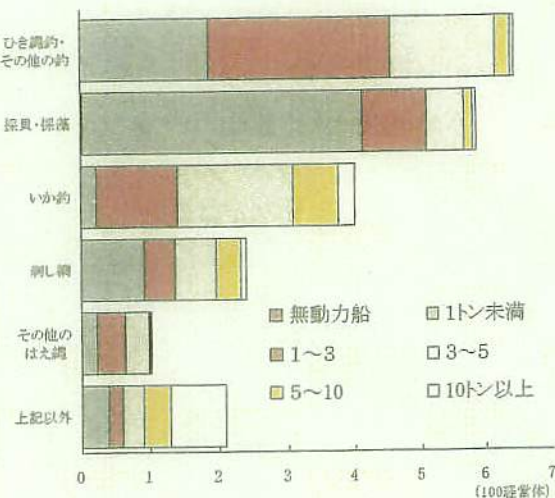


表3 主とする漁業種類別経営体数

単位：経営体

年次	計	海 面 漁 業										海 面 養 殖
		沖合底びき網	小型底びき網	まき網	刺網	いか釣	ひき縄釣・その他の釣	地びき網船びき網	定置網	採貝採藻	左記以外の漁業	
平. 12	2 723	13	77	29	296	560	703	29	95	539	208	174
13	2 643	12	85	30	323	323	785	29	93	566	233	164
14	2 499	11	83	20	305	408	666	25	93	547	229	112
15	2 729	10	82	17	340	452	728	21	84	681	221	93
16	2 496	10	83	21	262	403	656	18	84	647	211	101
17	2 357	7	87	19	240	399	642	18	84	592	183	86
対前年差	△ 139	△ 3	4	△ 2	△ 22	△ 4	△ 14	0	0	△ 55	△ 28	△ 15
対前年比(%)	94	70	105	90	92	99	98	100	100	91	87	85

注:1 沖合底びき網1そうびきを除く。
 2 海上作業従事日数30日未満の個人経営体を除いた調査結果である。
 3 平. 15は漁業センサス値である。

18 2,256 7 90 20 241 323 630 16 71 594 79

2 主な漁業種類別生産量

図15 主な漁業種類別生産量の推移

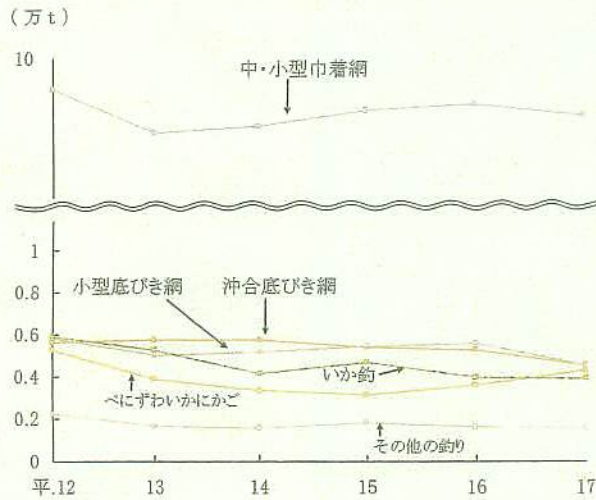


図16 主な漁業種類別生産量の構成

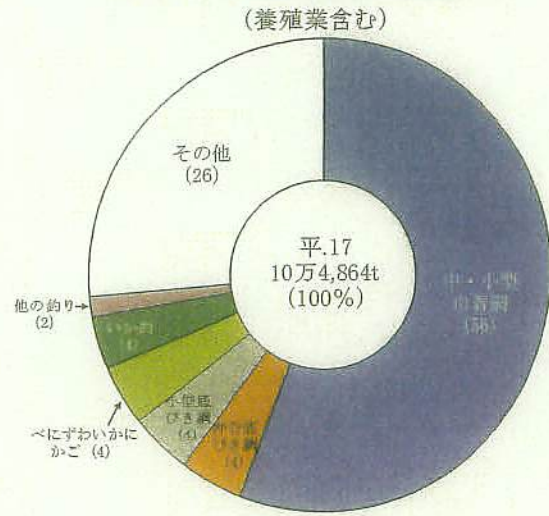


表6 主な漁業種類別生産量

単位：t

年次	計	漁業種類別												
		沖合底びき網	小型底びき網	大中型まき網	中・小型巾着網	刺網	いか釣	その他の釣り	採貝	採藻	定置網	べにずわいかにかご	海面養殖	
平. 12	142 576	5 632	5 822	x	78 048	1 954	5 916	2 245	1 479	236	7 318	5 254	1 599	
13	98 196	5 748	5 010	x	47 054	1 681	5 254	1 673	1 594	179	6 717	3 886	1 052	
14	103 061	5 733	5 144	x	51 617	1 449	4 153	1 558	1 499	206	5 071	3 339	1 401	
15	123 981	5 380	5 424	x	62 702	1 377	4 676	1 812	1 433	202	5 367	3 135	968	
16	121 874	5 244	5 561	x	66 855	1 336	3 970	1 628	1 487	244	5 779	3 585	679	
17	104 864	4 518	4 508	x	58 578	1 153	3 884	1 551	1 376	153	x	4 271	750	
対前年差	△17 010	△ 726	△1 053	…	△8 277	△ 183	△ 86	△ 77	△ 111	△ 91	…	686	71	
対前年比(%)	86	86	81	…	88	86	98	95	93	63	…	119	110	

注:1 平. 16, 17は、沖合底びき網1そうびきを除く。

2 その他の釣りは、ひき網釣も含む。

18 109645

19 127855

1. 近年は10万トン前後の漁獲量で推移
2. 昭和の終わりからの動向は10ページ・表3を参照
3. 過去の40～50万トンの漁業生産量は、まき網(巾着網)によるマイワシの漁獲に支えられたもの。
4. マイワシの資源の減少とともに漁獲量は減少し、まき網経営体数も減少
5. 沖合底びき網も魚価の低迷、資源の減少等により経営体数(統数も)減少

3 主な漁業種類別生産額

図17 主な漁業種類別生産額の推移

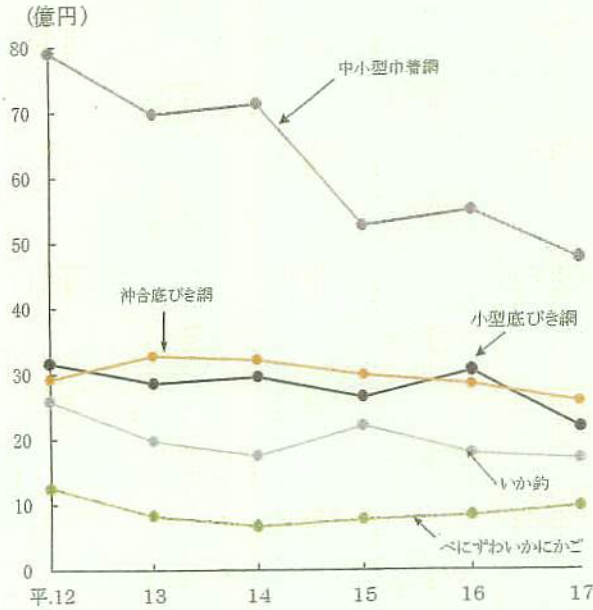


図18 漁業種類別生産額の構成



表7 主な漁業種類別生産額

単位：100万円

年次	計	沖合底びき網	小型底びき網	大中型まき網	中小型巾着網	刺網	いか釣	その他の釣	採貝	採藻	定置網	べにすわい・かりかご	海面養殖
平. 12	28 646	2 923	3 162	x	7 909	740	2 582	1 504	1 324	180	2 786	1 251	1 418
13	24 373	3 273	2 859	x	6 968	664	1 973	892	1 368	124	2 113	820	839
14	25 070	3 206	2 949	x	7 116	640	1 747	720	1 389	203	1 719	665	1 136
15	23 513	2 979	2 640	x	5 252	648	2 204	1 001	1 255	191	2 327	765	728
16	23 622	2 831	3 035	x	5 477	537	1 777	966	1 337	248	2 146	827	555
17	20 806	2 562	2 170	x	4 739	502	1 692	928	1 277	137	x	957	477
対前年差	△2 816	△ 269	△ 865	...	△ 738	△ 35	△ 85	△ 38	△ 60	△ 111	...	130	△ 78
対前年比(%)	88	90	71	...	87	93	95	96	96	55	...	116	86

注:1 平. 16, 17は、沖合底びき網1そうびきを除く。

2 その他の釣は、ひき網釣も含む。

18 21521 2429 2455

5224 679

692

829 474

1. 漁業種類別に漁獲する魚種と魚価が異なるため、生産量と生産額の関係はパラレルでない
2. 近年の漁業生産額は200～250億円
3. 過去の生産額は13ページにあるように、昭和の後半から平成の始めにかけては400億円を超える

VI 漁業経営（個人経営家族型漁船漁業1世帯当たり平均）

1 漁業経営体の所得と消費

図54 所得と消費の推移

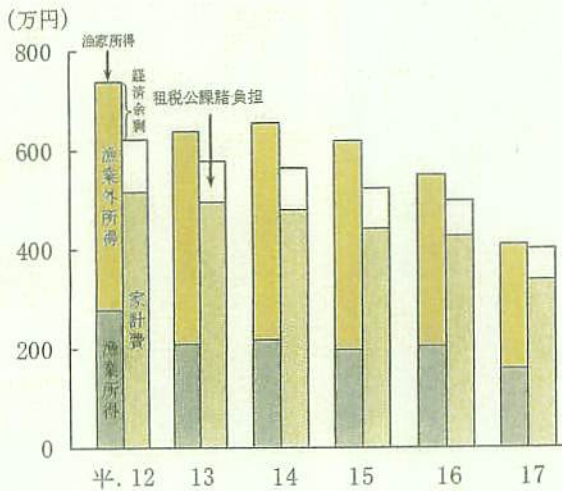


図55 主要分析指標の推移

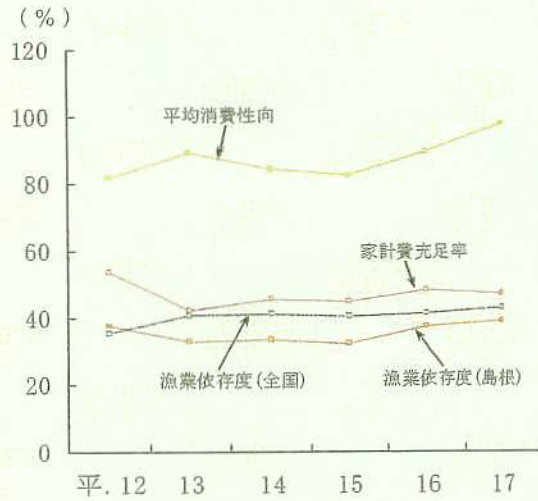


表24 漁業経営の概要

単位：1,000円

年次	経営の総括										分析指標		
	所得	漁業所得	漁業外所得	労働収入	租税公課 諸負担	可処分 所得	家計費	経済 余剰	出漁 日数	労働 時間	漁業 依存度	家計費 充足率	平均消 費性向
									日	時間	%	%	%
平. 12	7 371	2 775	4 596	2 820	1 047	6 324	5 159	1 165	146	1 903	37.6	53.8	81.6
13	6 368	2 087	4 280	2 167	828	5 540	4 944	596	170	1 743	32.8	42.2	89.2
14	6 526	2 173	4 353	2 057	841	5 685	4 784	901	162	1 745	33.3	45.4	84.2
15	6 172	1 973	4 199	1 875	800	5 372	4 415	957	152	1 869	32.0	44.7	82.2
16	5 482	2 042	3 440	1 145	709	4 773	4 256	517	137	1 584	37.2	48.0	89.2
17	4 083	1 578	2 505	801	625	3 458	3 363	95	123	1 140	38.6	46.9	97.3
対前年差	△1 399	△ 464	△ 935	△ 344	△ 84	△1 315	△ 893	△ 422	△ 14	△ 444	1.4	△ 1.1	8.1
対前年比(%)	74	77	73	70	88	72	79	18	90	72

注：所得（漁業所得+漁業外所得）は、四捨五入の関係から必ずしも一致しない。

1. 個人経営家族型漁業（釣、採貝藻等）を対象とした統計のため、高齢所帯を含む平均的な数値で表されている

3 漁業就業者数(海上)

(1) 漁業就業者総数

「漁業センサス調査」及び「漁業就業動向調査」の結果による。

単位：人

年次	計	性 別 年 齢 別					女
		男					
		小 計	15 ~ 24 歳	25 ~ 39	40 ~ 59	60 歳以上	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
全国 平.17	222 170	186 050	5 050	21 980	71 830	87 180	36 120
日本海 平.14	14 590	13 400	260	1 130	4 970	7 040	1 190
西 区 15(t)	14 771	13 597	420	1 182	4 917	7 078	1 174
16	14 200	13 010	260	1 040	4 970	6 740	1 200
17	13 740	12 620	410	920	4 750	6 540	1 120
島 根 平.10(t)	4 921	4 629	86	349	1 804	2 390	292
15(t)	4 247	4 020	123	277	1 400	2 220	227

S63: 7,240人
H5: 6,101人

(2) 自営漁業就業者数

単位：人

年次	計	性 別 年 齢 別					女
		男					
		小 計	15 ~ 24 歳	25 ~ 39	40 ~ 59	60 歳以上	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
全国 平.17	166 140	132 260	3 180	12 900	44 520	71 670	33 880
日本海 平.14	9 820	8 660	90	550	2 200	5 820	1 160
西 区 15(t)	9 982	8 866	108	400	2 445	5 913	1 116
16	9 730	8 530	110	510	2 430	5 480	1 200
17	9 460	8 340	140	420	2 390	5 380	1 120
島 根 平.10(t)	2 936	2 664	14	79	675	1 896	272
15(t)	2 753	2 533	11	52	628	1 842	220

(3) 雇われ漁業就業者数

単位：人

年次	計	性 別 年 齢 別					女
		男					
		小 計	15 ~ 24 歳	25 ~ 39	40 ~ 59	60 歳以上	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
全国 平.17	56 040	53 790	1 870	9 080	27 320	15 510	2 250
日本海 平.14	4 770	4 740	170	580	2 770	1 220	30
西 区 15(t)	4 789	4 731	312	782	2 472	1 165	58
16	4 480	4 480	160	530	2 540	1 250	-
17	4 280	4 280	270	500	2 360	1 160	-
島 根 平.10(t)	1 985	1 965	72	270	1 129	494	20
15(t)	1 494	1 487	112	225	772	378	7

島根県漁業の概要（資料編）

1. 漁業経営体数

年	S61	H3	H8	H13	H14	H15	H16	H17	H18
合計	4,223	3,737	3,047	2,643	2,499	2,729	2,496	2,357	2,256
漁船非使用	35	26	39	8	14	24	24	8	31
無動力	16	8	1	2	2	6	1	1	1
1T未満	1,074	1,120	1,033	959	855	960	827	772	731
1～3	1,220	1,012	767	595	602	712	621	589	559
3～5	717	670	590	512	505	540	522	511	478
5～10	358	270	185	184	194	188	187	180	180
10～20	95	102	76	73	75	78	80	84	85
20～30	7	6	3	3	5	4	7	6	7
30～50	7	5	5	3	3	3	3	3	2
50～100	39	21	16	11	6	9	9	7	7
100～200	28	34	26	18	15	12	12	9	6
200T以上	33	30	18	15	16	15	16	16	18
大型定置	34	35	32	32	30	26	24	23	19
小型定置	146	121	81	61	63	58	60	61	52
地びき網	8	4	5	3	2	1	2	1	1
海かき類	1	1	2	24	10	11	21	22	22
面わかめ類	353	210	124	109	82	65	57	45	39
もぶり類	8	5	6	3	3	2	1	1	1
漁その他	44	57	38	28	17	15	22	18	17
海出雲海区	1,766	1,546	1,267	1,134	1,596	1,157	1,001	929	862
石見海区	1,316	1,045	810	700	1,093	702	630	607	600
隠岐海区	1,141	1,146	970	809	1,034	870	865	821	794

資料：島根農林水産統計年報（中国四国農政局松江統計・情報センター編集）

注：H14以外の海区別経営体数については、他年と異なり、全ての経営体を計上（他年は、30日未満の個人経営体は計上せず）

2. 漁業就業者数

年	S58	S63	H5	H10	H15
合計	8,446	7,340	6,101	4,921	4,247
男性	7,781	6,862	5,685	4,629	4,020
15～24	236	141	86	86	123
25～39	1,450	1,068	560	349	277
40～59	4,438	3,637	2,641	1,804	1,400
60～64	739	935	1,050	787	515
65才以上	918	1,081	1,348	1,603	1,705
女性	665	478	416	292	227
15～24	1	3	0	0	0
25～39	81	36	11	7	3
40～59	442	291	200	105	67
60～64	79	79	107	56	41
65才以上	62	69	98	124	116

資料：漁業センサス

3. 海面漁業種類別漁獲量（属人）

年	S61	H3	H8	H13	H14	H15	H16	H17	H18
合計	519,391	373,946	218,214	97,144	101,660	123,013	121,194	104,114	109,089
沖底(2そうびき)	16,225	9,370	6,482	5,748	5,733	5,380	5,244	4,518	5,065
小底縦びき1種	4,696	4,427	5,356	4,695	4,892	5,186	5,309	4,346	5,577
大中型1そうまき網	184,667	100,779	54,401	5,815	6,756	7,815	10,211	8,073	9,605
中・小型1そうまき	201,786	191,231	110,501	47,054	51,617	62,702	66,855	58,578	59,112
定置網	18,099	17,177	7,905	6,717	5,071	5,367	5,778	1,289	1,406
いか釣	4,715	6,093	5,788	5,254	4,153	4,676	3,970	3,884	2,372
採貝	1,547	1,651	1,662	1,594	1,499	1,433	1,487	1,376	1,307
採藻	1,308	386	282	179	206	202	244	154	130
べにずわいかにか	22,005	9,714	8,189	3,886	3,339	3,135	3,585	4,271	3,936
ずわいかにかご	170	101	130	209	213	213	251	210	243
その他	64,173	33,017	17,518	15,993	18,181	26,904	18,260	17,415	20,336

資料：島根農林水産統計年報（中国四国農政局松江統計・情報センター編集）

注1：H17及びH18の定置網漁獲量は小型定置のみ。

注2：H18のいか釣は沿岸いか釣のみ。

注3：大中型1そうまき網のH13以降の漁獲量については、統計年報に数値が記載されていないため、県独自に集計した数値を用い

5 海 面

(1) 海区別・漁業種類別漁獲量 (属人)

「海面漁業漁獲統計調査」の結果による。

単位: t

年次・漁業種類	全 国	島 根			
		計	出雲海区	石見海区	隠岐海区
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
平. 12	5 021 610	140 977	36 842	27 148	76 987
13	4 752 986	97 144	25 972	21 934	49 238
14	4 433 754	101 660	25 229	20 051	56 380
15	4 721 968	123 013	32 797	20 384	69 832
16	4 455 064	121 194	23 895	21 626	75 674
17	4 456 890	104 114	19 208	18 258	66 648
沖合底びき網 1そうびき	342 545	x	x	x	x
沖合底びき網 2そうびき	36 651	4 518	x	x	-
小型底びき網縦びき 1種	42 723	4 346	290	4 055	-
小型底びき網縦びきその他	390 698	162	138	0	24
船 び き 網	222 924	297	35	168	93
地 び き 網	1 079	x	x	x	x
大中型1そうまき網その他	626 932	x	x	x	x
中・小型1そうまき巾着網	324 823	58 578	-	7 213	51 365
中・小型2そうまき巾着網	81 436	-	-	-	-
その他の中・小型まき網	6 415	711	x	649	x
その他の刺網	180 243	1 153	350	248	555
その他の敷網	47 026	638	589	8	42
大型定置網	240 627	x	x	x	x
小型定置網	134 351	1 289	688	385	216
その他の網漁業	8 467	92	69	22	-
遠洋まぐろはえ縄	137 295	x	x	x	x
その他のはえ縄	40 809	204	120	59	25
い か 釣	206 610	3 884	1 847	477	1 559
ひき縄釣・その他の釣	75 059	1 551	567	560	424
採 貝	53 506	1 376	341	173	863
採 藻	102 817	153	54	58	41
その他の漁業	1 153 854	4 673	2 191	99	2 383
うちべにずわいかにかご	...	4 271	2 116	-	2 155
うちずわいかにかご	...	210	x	-	x

注: 1 全国の値は、上記分類以外の漁業による漁獲量を「その他の漁業」に合算計上した。
 2 単位未満を四捨五入しているため、計と内訳は必ずしも一致しない。

18
19
(561)

109089
125341
(519,591)

V 水産加工

図52 生産量の推移

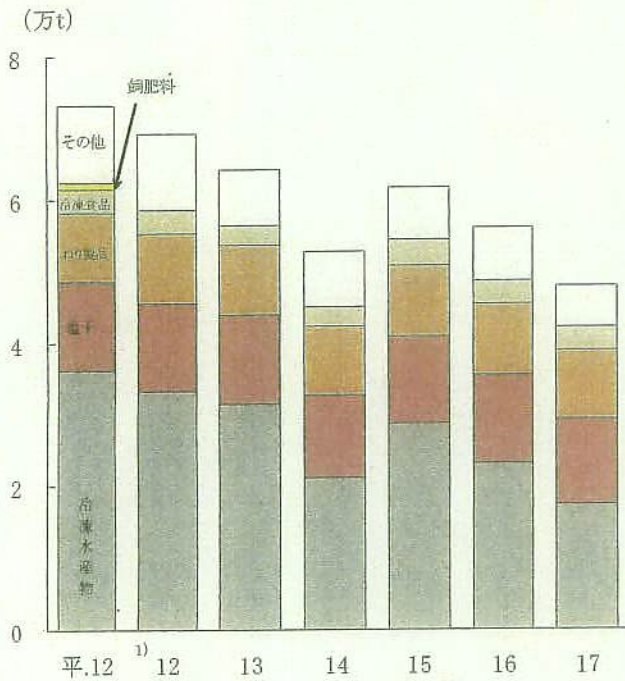


図53 品目別生産量の構成

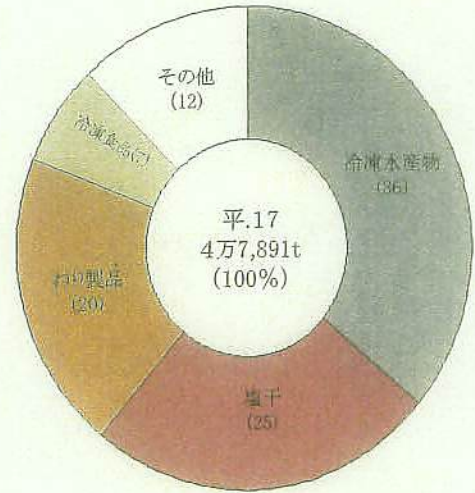


表 23 品 目 別 生 産 量

単位 経営体数：経営体
生産量：t

年次	経営体数 (実)	計	素干し	塩干	煮干し	塩蔵	ねり製品	冷凍食品	飼肥料	冷凍水産物	その他	調味加工品
平. 12	450	73 183	134	12 355	49	410	9 646	3 283	x	36 144	10 307	4 866
12	214	69 161	134	12 355	49	410	9 646	3 283	...	33 237	10 047	4 866
13	201	64 066	96	12 520	142	432	9 838	2 697	...	31 353	6 988	6 718
14	193	52 747	x	11 544	x	554	9 563	2 629	...	21 184	7 181	6 935
15(セ)	201	61 496	42	12 090	36	563	9 867	3 672	...	28 803	6 423	x
16	190	56 006	39	12 193	26	590	9 852	3 271	...	23 196	6 839	6 520
17	184	47 891	48	12 035	33	472	9 566	3 184	...	17 294	5 256	5 009
対前年差(t)	△ 6	△ 8 115	9	△ 158	7	△ 118	△ 286	△ 87	...	△ 5 902	△ 1 583	△ 1 511
対前年比(%)	97	86	123	99	127	80	97	97	...	75	77	77

注：1 平成13年調査から、加工場又は加工施設がなく、専従の従業員のいない漁家等を調査対象から除き、また「油脂」、「飼肥料」、「冷凍水産物」のうち「塩蔵品」等の調査を中止したほか、各加工種類についても調査品目の新規追加、統廃合を行った。

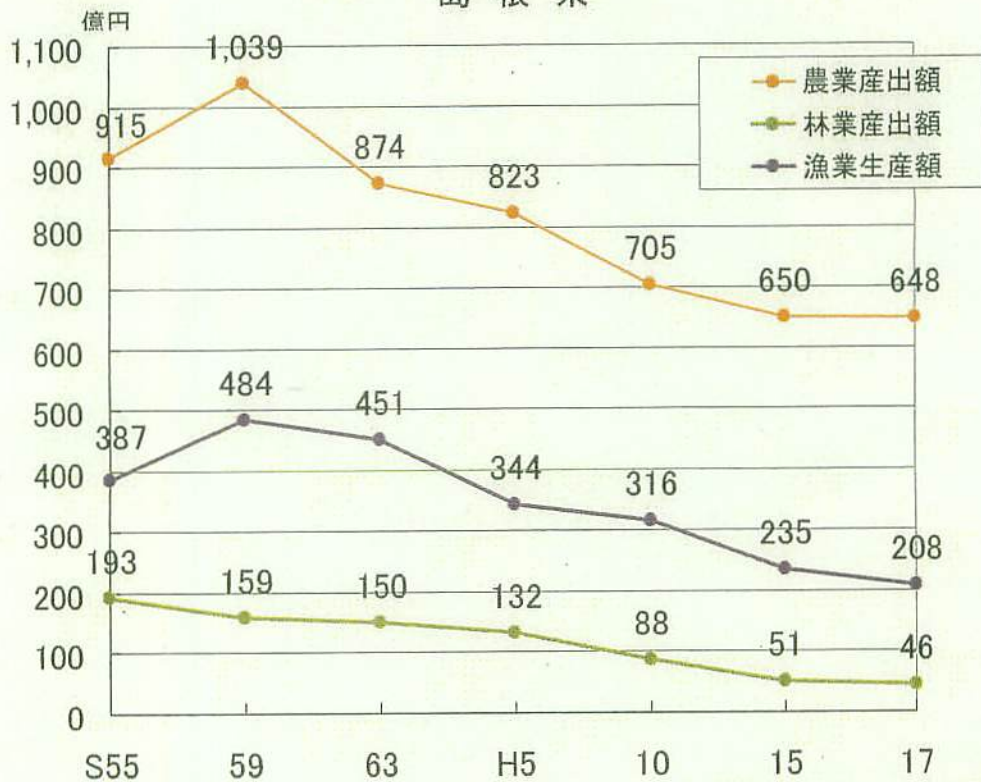
2 下段の平. 12は、平成13年の調査結果と比較できるように、品目変更に合わせて組替集計したものである。

3 平. 15は、非沿海市町村を含む。

18 ? 44663

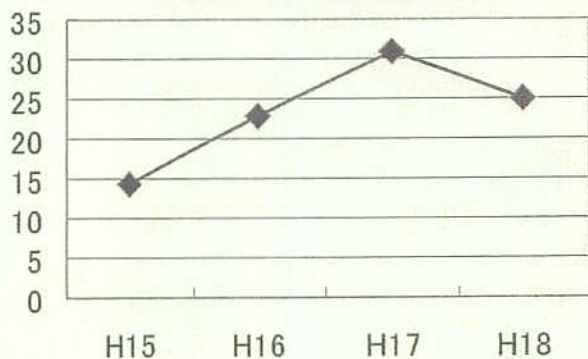
農林水産業産出額は減少傾向にあるが、特色ある取組が進んでいる

島根県

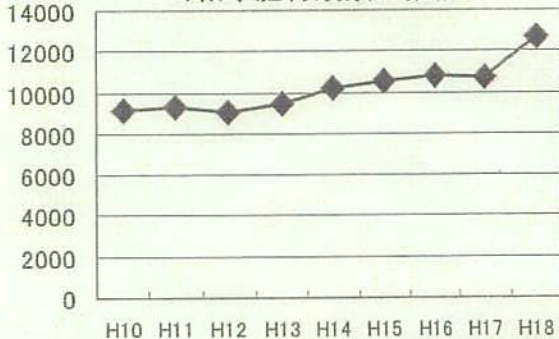


資料出所:「農林水産統計」農林水産省

(億円) <特色ある米の販売額の推移>



(頭) <和牛肥育頭数の推移>



資料出所:島根県農畜産振興課

▽ 米が農業産出額の約 4 割を占める。

▽ 各地域では、消費者ニーズに対応した「特色ある米づくり」などの取り組みが進んでいる